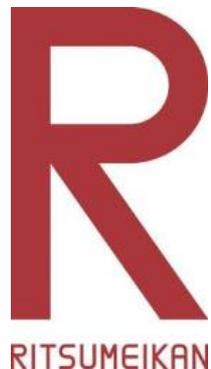


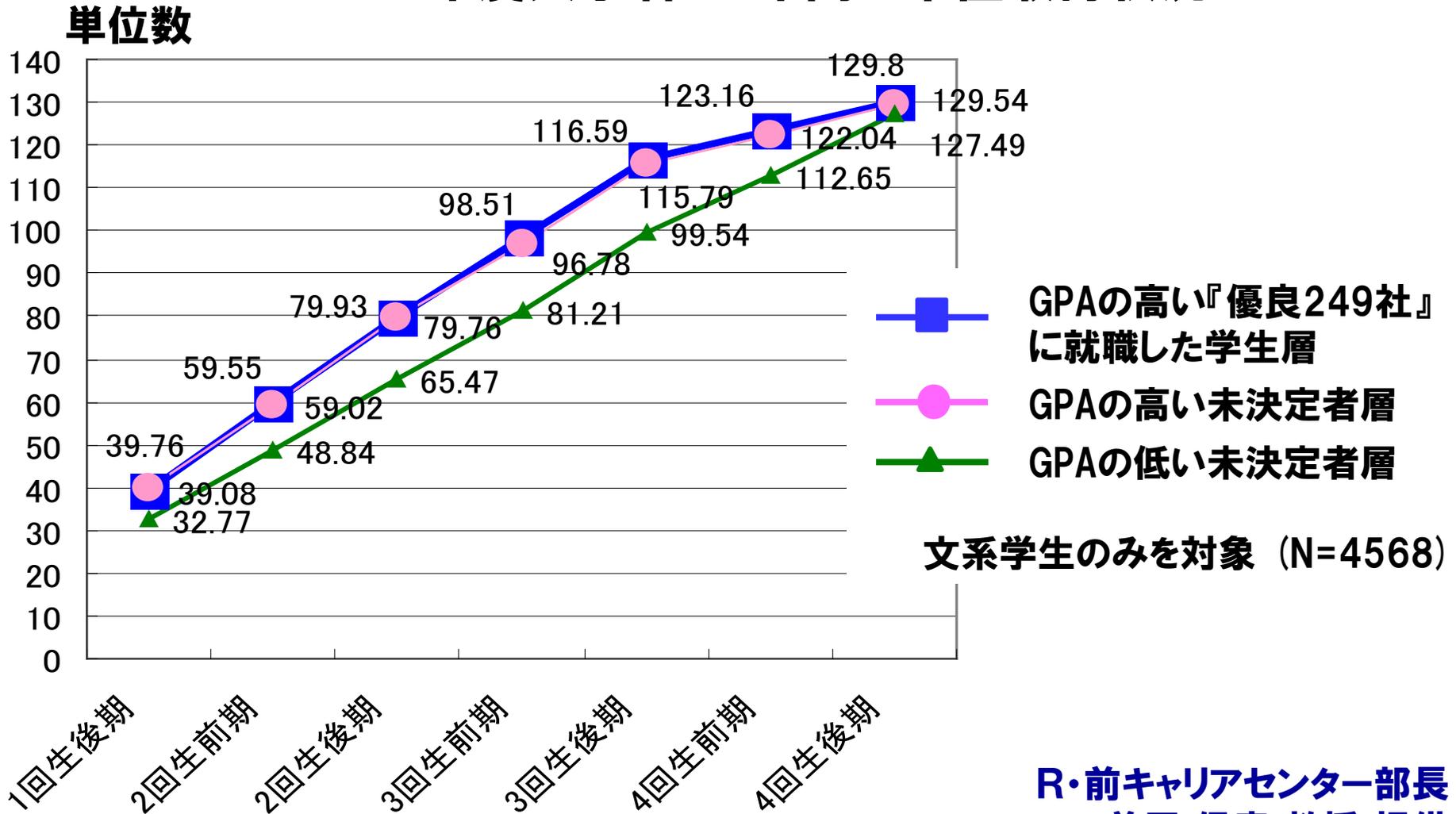
**2018.12.26 私立大学情報教育協会
理工学分野連携アクティブラーニング対話集会**

学内外の多様性を活かした考動型学 びの事例紹介とICT活用による高度化



**立命館大学 理工学部
建山 和由**

2008年度入学者 4年間の単位取得状況



R・前キャリアセンター部長
前田 信彦 教授 提供

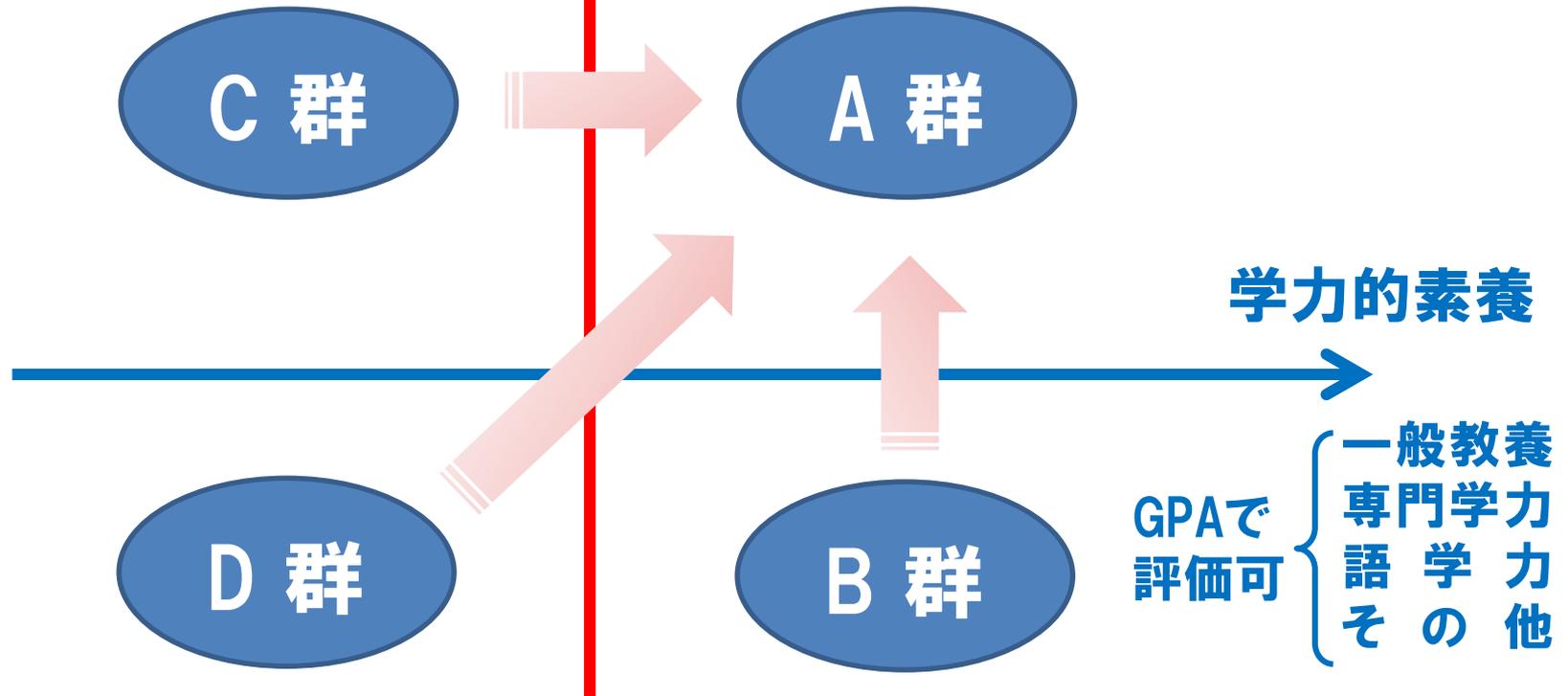
社会は、大学の成績だけでは評価していない

立命館における学びの目指すところ

探求心
企画面
応用展
対話開
自己管理
論理的思考

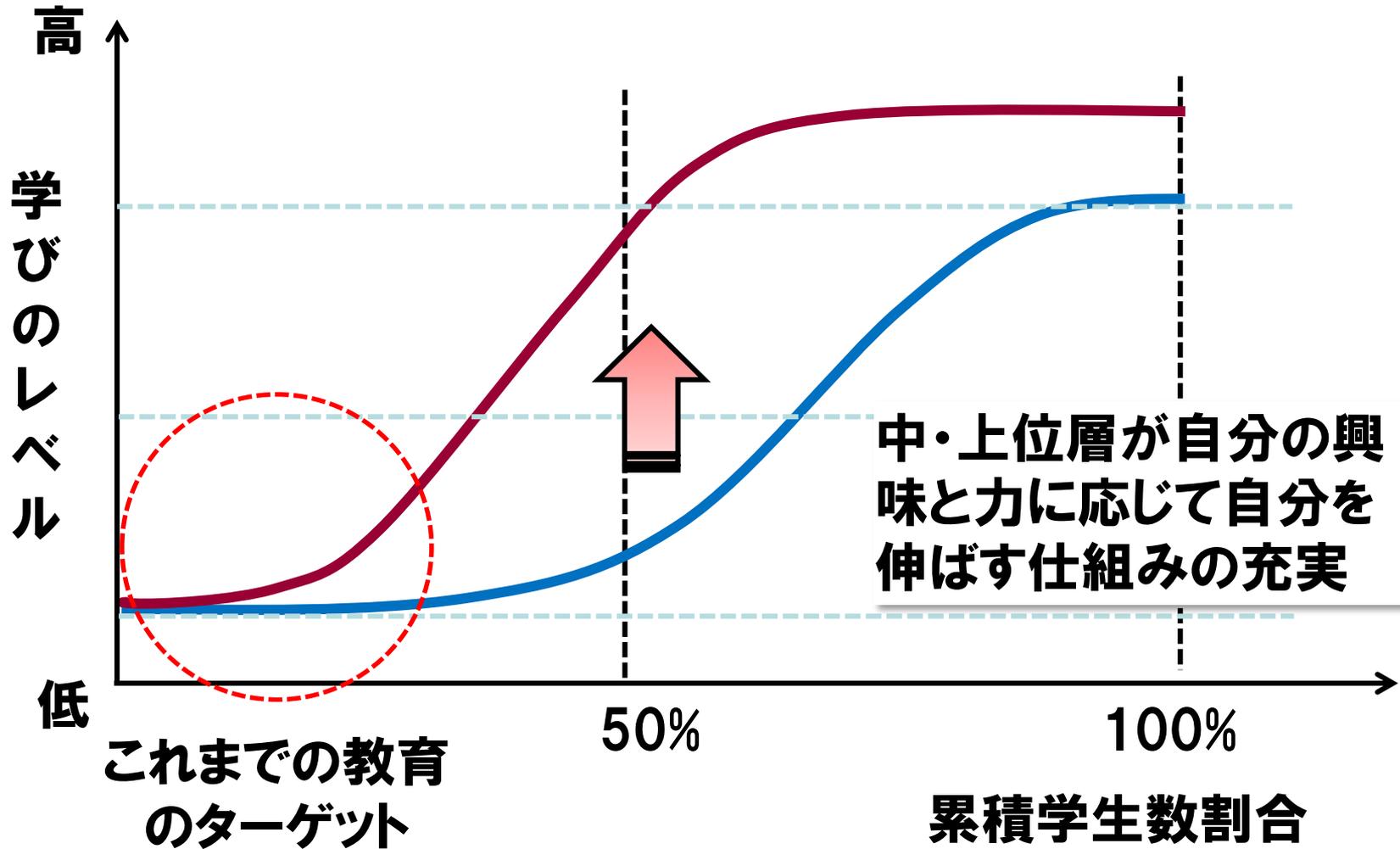
学びの基礎的素養
GPAで
評価困難

主体的な学び
問題発見と
解決の提案



アクティブラーニングによる学びの基礎的素養の育成

中・上位層の学びの多様化の必要性



自分の可能性の探索サイト

<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/koho/rs/plusr/index.html>

わたしの選んだ +R

立命館大学では、学ぶ意欲を高め、目標とする進路実現に向けて成長できる環境があります。
このページでは、様々なプログラムを利用した学生の、学びと成長の実感にあふれた熱いメッセージを紹介しています。
また、各プログラムのガイダンスや申し込み日程の情報を公開しています。少しでも興味・関心があれば、この機会に是非参加してみよう！



001

留学をする

Student's Voice

小長由佳 さん
国際関係学部3回生



002

語学力を伸ばす

Student's Voice

磯部浩康 さん
経済学部3回生



003

資格を取る

Student's Voice

岡本 立 さん
法学部4回生



004

教師を目指す

Student's Voice

黒木太雄さん
文学部3回生



005

ボランティアをする

Student's Voice

谷尻倫子 さん
経営学部2回生



006

ベンチャービジネスに挑戦する

Student's Voice

白石玲音 さん
経営学部3回生



007

学生同士で学びあう

Student's Voice

太田郁磨 さん
産業社会学部3回生



008

課外自主活動で自分を磨く

Student's Voice

井上拓哉 さん
産業社会学部4回生



009

インターンシップをする

Student's Voice

今西 謙 さん
文学部3回生



Professional

専門的な学びを究める [大学院]

Student's Voice

里見知昭 さん
理工学研究科総合理工学専攻



Thinking

将来の自分を考える

Student's Voice

加藤真英 さん
経営学部4回生





立命館大学 イノベーション・アーキテクト 養成プログラム

*Think Innovative,
Act Collaborative.*

個の共創で、社会のイノベーションを

文科省: http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/edge/1346947.htm

立命館大学 EDGE+R: http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/edge/

Program for Cultivation of Innovation Architect

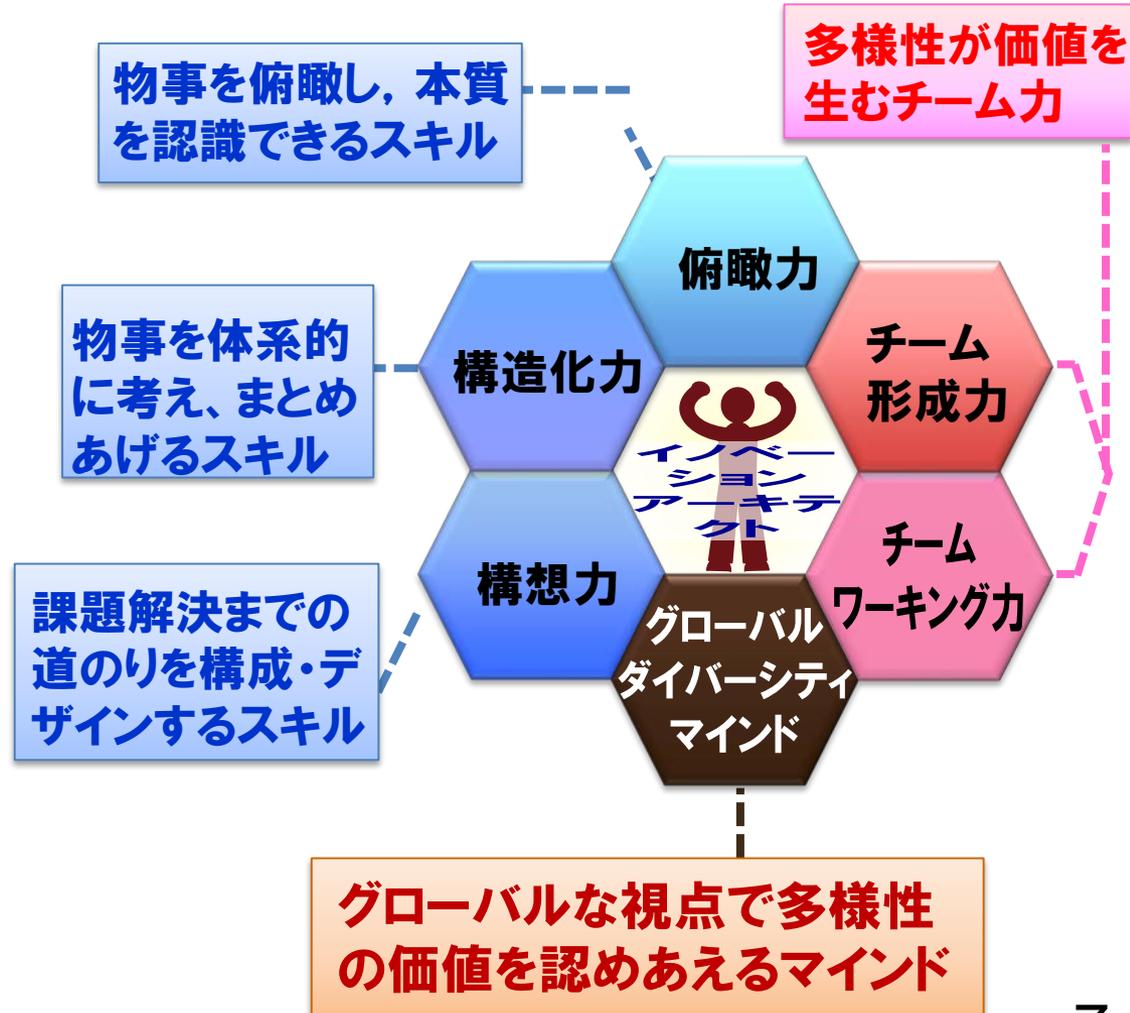
概要

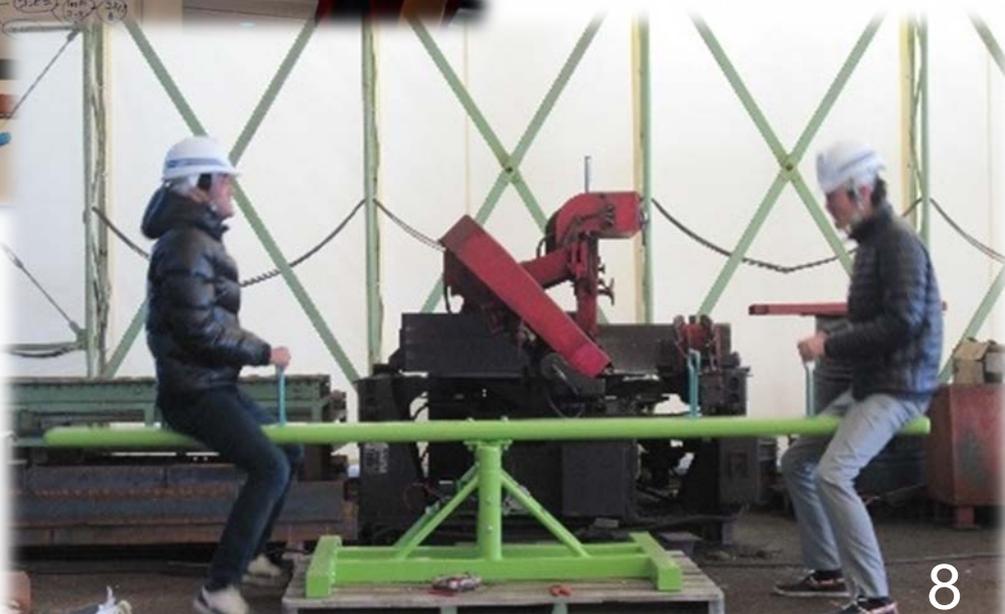
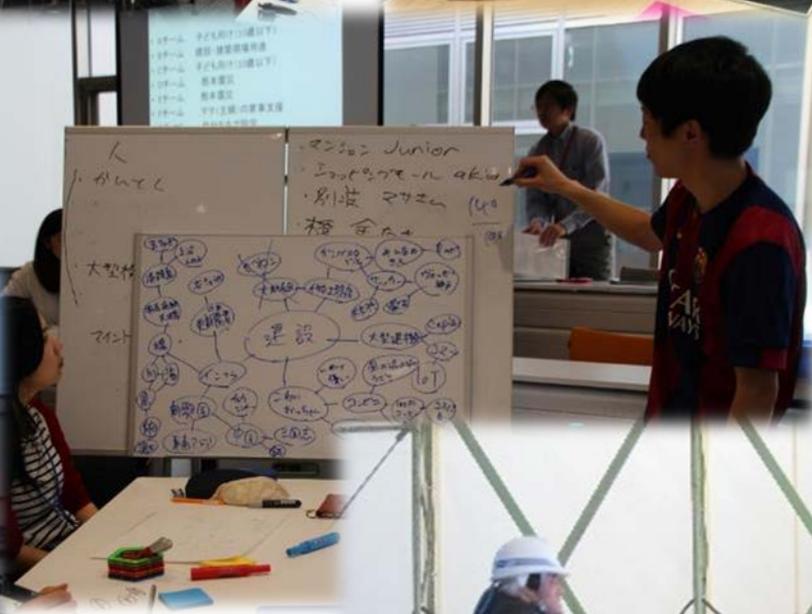
全学部/研究科の学生，若手研究者，社会人，他大学生など幅広く多様な受講生を集め，文理融合チームを作り，本学研究室の技術シーズ，連携企業ニーズ，社会的ニーズなどをもとに，課題抽出・課題形成・課題解決のサイクルを回すPBL型プログラム

特徴

「多様性」と「チーム」をキーワードに，自主自律のチーム活動を通して，新たな価値創造の「意義」と「プロセス」を体験する正課外の実践型学習

「イノベーション・アーキテクト」 目指す人材像





企業と連携して社会的課題に対して ニーズ観察から新規アイデア創出

デザイン思考 ワークショップ



茨木駅周辺の活性化を
テーマにチームでアイデ
アを出し合いラピッドプ
ロトタイピング

5月

地方創生×



チームでターゲット県に
赴き調査に基づく経済活
性化アイデア案を提案

6月

まちづくりを考える



Daiwa House。
大和ハウスクレブ



現地合宿調査から開始し
高齢化が進むまちの活性
化案創出

7月

学内外から幅広く受講生を獲得

	2014年度	2015年度	2016年度	計
PBL型プログラム	29名	94名	192名	315名
講座	91名	354名	155名	600名
計	120名	448名	347名	915名

13学部・16研究科から受講生を獲得

受講生内訳(のべ数)

学内から約75%

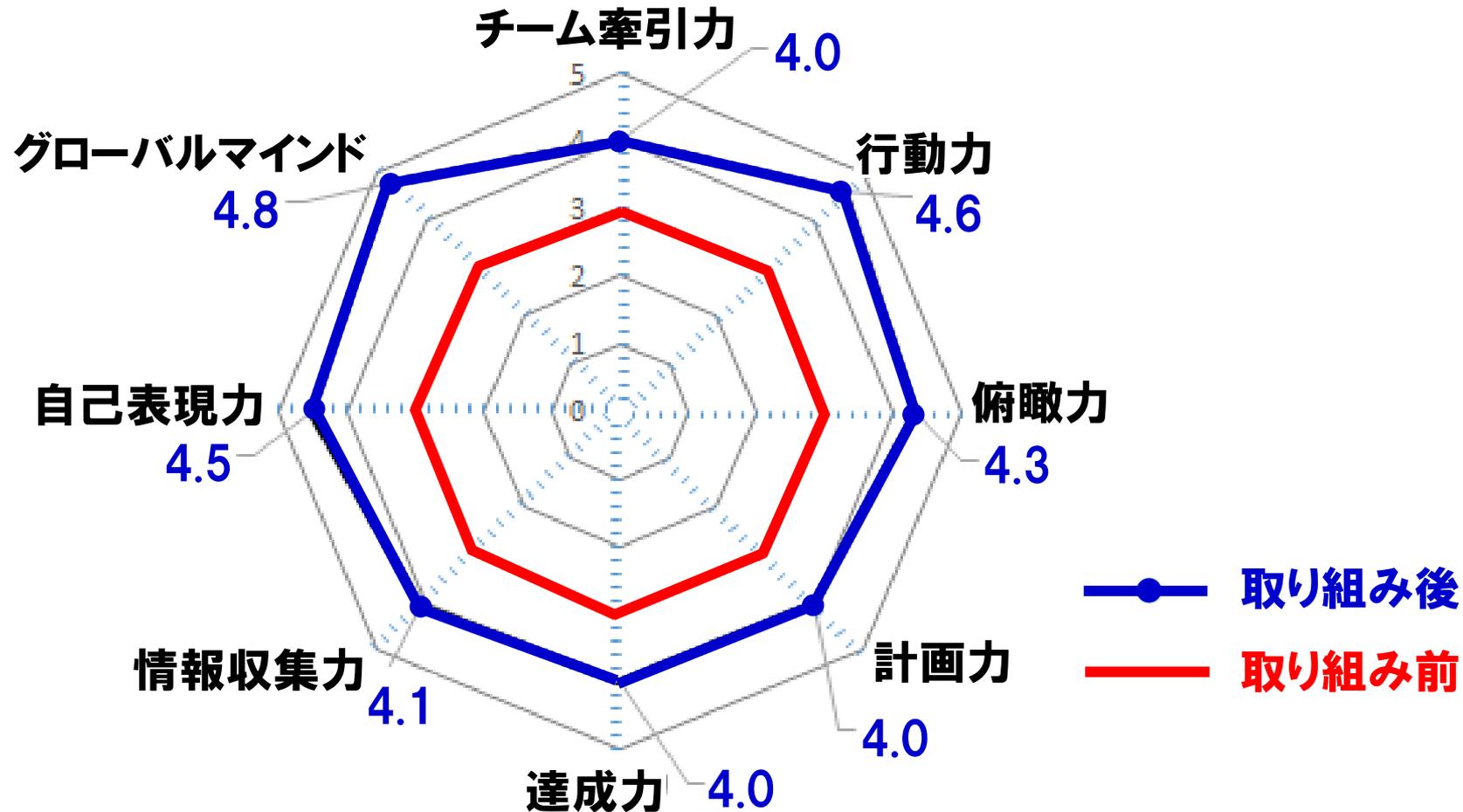
学外から約25%

	立命館大学																							APU		その他				小計	合計					
	学部学生												大学院生											学部		院生		P D	教職員			他大学生	社会人			
	法	産業社会	国際関係	文	経済	スポーツ	理工	情報理工	生命	経営	政策	法	国際関係	文	応用人間	言語教育	経済	スポーツ	理工	情報理工	生命	経営	政策	M O T	経営管理	アジア太平洋学	国際経営							アジア太平洋学	経営管理	
PBL型プログラム	10	2	13	3	12	3	15	10	8	67	2	0	0	3	2	2	0	10	10	2	5	14	1	17	2	213	5	36	1	8	5	9	18	20	102	315
講座	13	3	20	12	24	8	33	13	24	131	40	2	2	0	7	6	13	13	16	0	13	13	5	31	41	483	0	15	0	13	2	14	1	72	117	600
計	23	5	33	15	36	11	48	23	32	198	42	2	2	3	9	8	13	23	26	2	18	27	6	48	43	696	5	51	1	21	7	23	19	92	219	915

文系・理系, 学年, 性別, 国籍が混じり合う多様性の重視

2017年度プログラムの検証・評価

受講者アンケートを通じた成長実感調査 5段階自己評価



取り組み前を一律「3.0」とし、取り組み後の自己評価結果の平均値

プログラムを進める上での課題1

時間と空間
の制約

1時間以上

文学部 法学部
産業社会学部 国際関係学部
映像学部

京都衣笠キャンパス

1時間以上

理工学部 情報理工学部
生命科学部 薬学部
食マネジメント学部 経済学部
スポーツ健康科学部

びわこ草津キャンパス

1時間以上

政策科学部 経営学部
総合心理学部
グローバル教養学部

大阪いばらきキャンパス

多様な学部の学生が参加
but 3キャンパスに分散

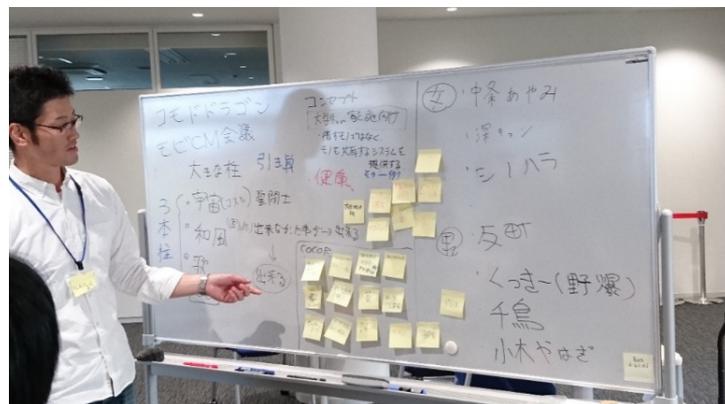
同時に集まって
自由に議論する
ことが困難.



プログラムを進める上での課題2

新しいアイデア創造では、具体的なイメージを描き・修正の試行錯誤の繰り返しが重要

具体的なイメージ作りや議論誘発をサポートする道具が必要 (LEGO Serious Play)



EPSON 遠隔TV会議＋情報共有システム

<https://www.epson.jp/products/bizprojector/itr/>

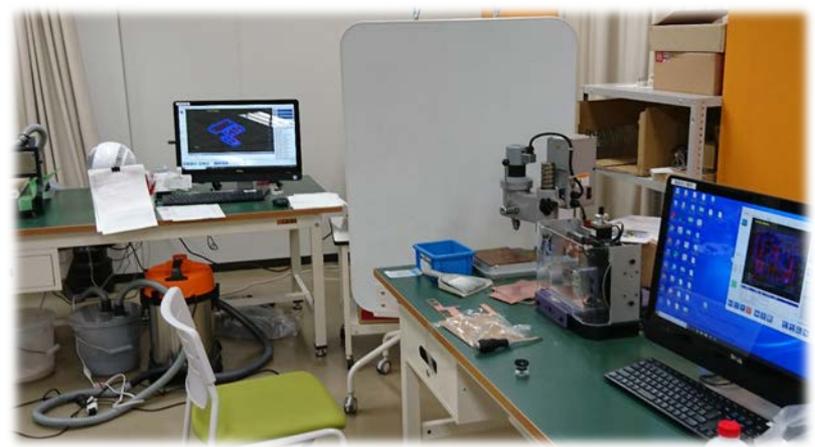


FUJITSU Co-creating Program Experience Design Service

<http://www.fujitsu.com/jp/about/corporate/facilities/dtc/article/interview-11.html>



立命館大学ものづくりの拠点 AIOL（アイオーラボ）



3DCAD, 3Dプリンター, 人工知能WS, ハイスペックPC, シングルボードコンピューター（Raspberry Pi）等を導入。ものづくりへのトライアルが容易に。

ご静聴ありがとうございました。